

グローバル共創科学部における一般選抜（前期日程・後期日程）で課す「国語」、「数学」、「英語」、「小論文」について

この文書は、令和5年度入試（令和4年度実施）において、グローバル共創科学部志願者に課される「国語」、「数学」、「英語」、「小論文」について、出題内容のイメージを、本学で過去に出題した問題をもとにお伝えするものです。以下の文書内容は、今後の入試における出題内容を確認するものではありませんが、「過去問題」と同等の利便を志願者のみなさんに提供すべく、公開するものです。

前期日程の「国語」について

人文社会科学部（社会学科、言語文化学科、教育学部（学校教員養成課程）【音楽教育・美術教育・保健体育教育専修は除く】）、地域創造学環（選抜方式A）において一般選抜（前期日程）で過去に出題した問題をご参照ください。

前期日程の「数学」について

教育学部（学校教員養成課程）【音楽教育・美術教育・保健体育教育専修は除く】、理学部（生物科学科、地球科学科）、農学部、地域創造学環（選抜方式A）において一般選抜（前期日程）で過去に出題した問題をご参照ください。

前期日程の「英語」について

人文社会科学部（社会学科、言語文化学科、教育学部（学校教員養成課程）【音楽教育・美術教育・保健体育教育専修は除く】）、情報学部（情報社会学科、行動情報学科）、地域創造学環（選抜方式A）において一般選抜（前期日程）で過去に出題した問題をご参照ください。

後期日程の「英語」について

次ページに問題の例を示します。大問3問中の大問3が、グローバル共創科学部独自の問題となっています。そのほか（大問1及び大問2）は、情報学部（情報社会学科、行動情報学科）、及び工学部において一般選抜（後期日程）で過去に出題した問題をご参照ください。

グローバル共創科学部独自の問題では、与えられたテーマについて、具体的な例を挙げながら、自分の意見を英語で述べるという出題形式となっており、受験者の英作文能力並びに思考力・総合力を問う問題となっています。

後期日程の「小論文」について

後期日程の「小論文」については、グローバル共創科学部独自の問題となっていますが、出題形式等は地域創造学環において一般選抜（後期日程）で過去に出題した問題をご参照ください。

一般選抜（後期日程）における大問3の例題

3

食品ロスとは、まだ食べられるのに廃棄される食品のことです。日本では、いわゆる食品ロスは年間522万トン（2020）で、国民一人当たり換算すると、お茶碗約一杯分（約113グラム）の食べ物が捨てられていることとなります。科学者の中には、近い将来食糧不足が起こるかも知れないと言う人もいます。食料ロスの問題が解決されなければ、今後ますます飢餓に苦しむ人が増えていくことになるかも知れません。食品ロスの原因は何にあると考えますか？また、食品ロスを削減するためにあなたは何をしていますか？自分の考えを120語以内の英語でまとめてください。